

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第10週 （3月4日～3月10日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告は第9週の3.90から第10週は1.79と急減しています。7週連続で減少していますが、引き続き県全域から報告があり、中央西、幡多、中央東で急減、高知市、安芸で減少しています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型が81件、インフルエンザB型が3件の報告があります。

病原体検出情報では、臨床診断名「インフルエンザ」として搬入された検体からInfluenza virus A H3 NTが1例、Influenza virus B/Victoriaが2例検出されています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2019年第5週～第9週）では、AH3の検出割合が最も多く70.2%、次いでAH1pdm09が27.7%、B（ビクトリア系統）が1.5%、B（山形系統）が0.5%の順でした。

減少してきていますが、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけ、症状がある方は、咳エチケットに心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も有効です。感染力は非常に強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

### ●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuulenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuulenza/index.html)

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第9週の4.00から第10週では4.87と増加しています。県全域から報告があり、中央西で急減していますが、中央東で急増、幡多で増加しています。

学校欠席者・感染症情報システム※でも22例の報告があることから注意が必要です。

病原体検出情報では、臨床診断名「感染性胃腸炎」として搬入された検体からNorovirus GI NTが1例、Norovirus GII NTが1例、臨床診断名「なし」として搬入された検体からNorovirus GI NTが1例、Norovirus GII NTが1例検出されています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス3例、ロタウイルス4例、細菌の病原性大腸菌3例、大腸菌とカンピロバクター属菌の同時検出1例の他、第10週前半に急増も後半は下火との情報があります。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

＜予防方法＞ 感染予防の基本は手洗いです

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷

所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

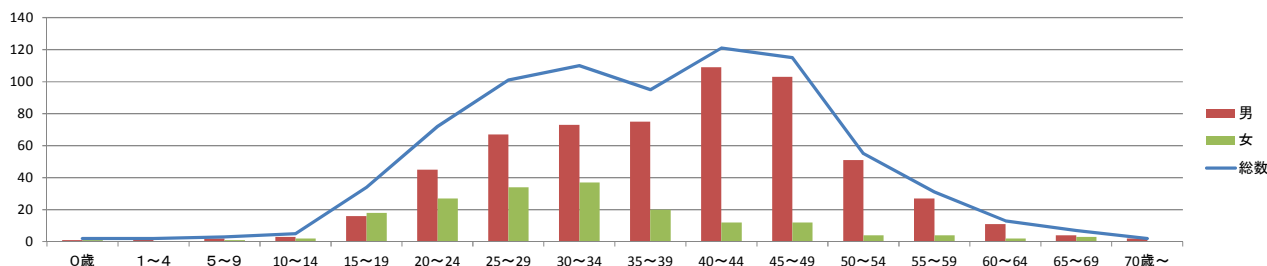
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

### ○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2019年第1週～9週の報告数は768人となっており（2018年の同時期全国で3人）、94%（722人）が成人で、30歳から50歳代の男性を中心に（男性591人、女性177人）に報告数の多い状態が継続しています。

2019年累積風しん報告数(年齢別・性別)



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、大阪府、福岡県以外に埼玉県、兵庫県、愛知県、三重県、京都府など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、**感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなど今後さらなる注意・予防に務めましょ**う。

#### 【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ

感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染

潜 伏 期 間 : 2～3週間程度

感染性のある期間: 発疹のでる7日前から発疹出現後7日くらいの間

#### 【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

#### 【予防方法】

・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。

風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1歳児、小学校入学前1年間の幼児の方）

・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠20週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りにいる方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

#### 【風しんの抗体検査について】

県及び高知市は、風しん及び先天性風しん症候群の発生の予防及びまん延防止を図るため、高知県内在住（住所を有する者）の**妊娠を希望する女性やその家族などに対して無料の風しん抗体検査を実施しています。**

抗体検査を実施する医療機関により検査受付は異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

#### 【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- ① 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- ② 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生研究所で行いますので、直

ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しん Q&A 2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて (厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/)

●衛研ニュース第20号(高知県衛生研究所) 30~50歳代の男性!風しんのことを知っていますか?

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

## ○麻しんに気を付けて!

麻しんについては、平成27年3月27日付けで世界保健機関西太平洋地域事務局により日本が排除状態にあることが認定されましたが、その後も海外で感染した患者を契機とした国内での感染の拡大事例が散見されています。2019年第1週~9週の全国の麻しんの報告数は285人と(2018年の同時期全国で7人)前年と比較して多い状態が継続しています。特に、関西地方で麻しん患者数の増加がみられ、今後麻しん患者の移動等により、感染の拡大する可能性がありますので注意してください。

予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象年齢になったら、予防接種を受けましょう。

【各医療機関管理者の皆様へ】

(高知県健康対策課 平成31年3月4日付け30高健対発第1886号「麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起」より)

- ①発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、麻しんの可能性を念頭に置き、海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、麻しんの罹患歴及び予防接種歴を確認するなど、麻しんを意識した診療をお願いいたします。
- ②麻しんを疑う患者を診察した場合は、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所に連絡し、確定診断のための県衛生研究所でのウイルス検査を行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へご連絡をお願いします。また、麻しん患者と確定した場合は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第12条第1項の規定に基づき、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所へ速やかに届け出るとともに、麻しんの感染力の強さに鑑みた院内感染予防対策をお願いいたします。

●医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版 平成30年5月(国立感染症研究所疫学センター)

[https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical\\_201805.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf)

●麻しんについて(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html)

●麻しん(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>



## ☆ダニの感染症(日本紅斑熱・SFTS)に注意!

「日本紅斑熱」や「SFTS(重症熱性血小板減少症候群)」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型(吸血前で3~4mm)の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かい春から秋にかけて盛んに活動し、この期間に多くの患者発生がみられますが、冬でも発生例が報告されています。暖かくなってきましたので、屋外で活動される場合はマダニ対策を心がけましょう(全てのマダニが病原体を持っているわけではありません)。

【マダニに咬まれないために】

長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。

マダニに対する虫除け剤(有効成分:ディートあるいはイカリジン)を活用しましょう。

地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。

活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして(数日~数週間程度)発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと(ダニに咬まれたこと)を申し出てください。

●重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関するQ&A(厚生労働省)

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

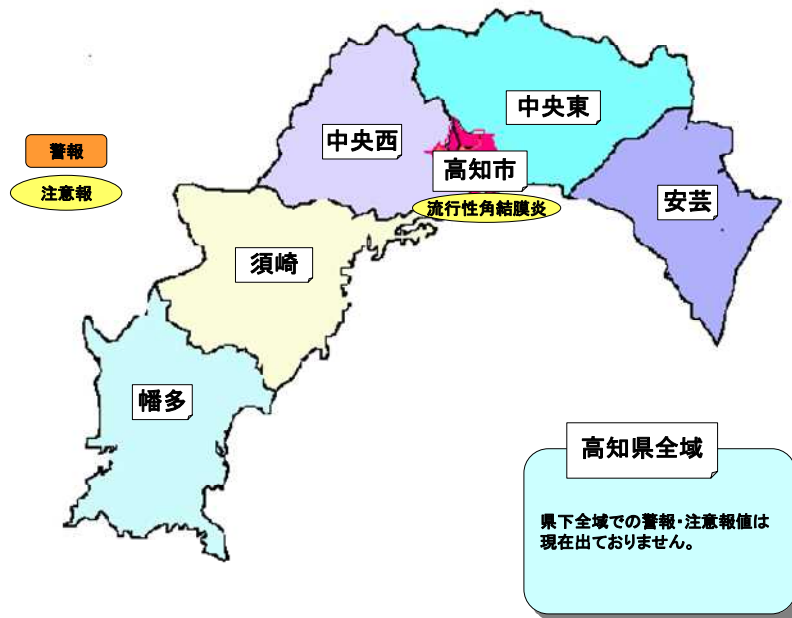
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑ : 急増   
 ↗ : 増加   
 → : 横ばい   
 ↘ : 減少   
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color: magenta;">↗</span>	4. 8 7	中央西で急減していますが、中央東で急増、県全域、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color: yellow;">→</span>	2. 4 3	高知市、幡多で減少していますが、中央東、中央西で増加しています。
インフルエンザ	<span style="color: green;">↓</span>	1. 7 9	県全域、中央西、幡多、中央東で急減、高知市、安芸で減少しています。
RSウイルス感染症	<span style="color: yellow;">→</span>	1. 1 3	中央東で急減、幡多、中央西で減少していますが、須崎で急増、高知市で増加しています。
突発性発疹	<span style="color: magenta;">↗</span>	0. 4 3	中央西で急減、須崎で減少していますが、中央東、安芸幡多、高知市で急増、県全域で増加しています。

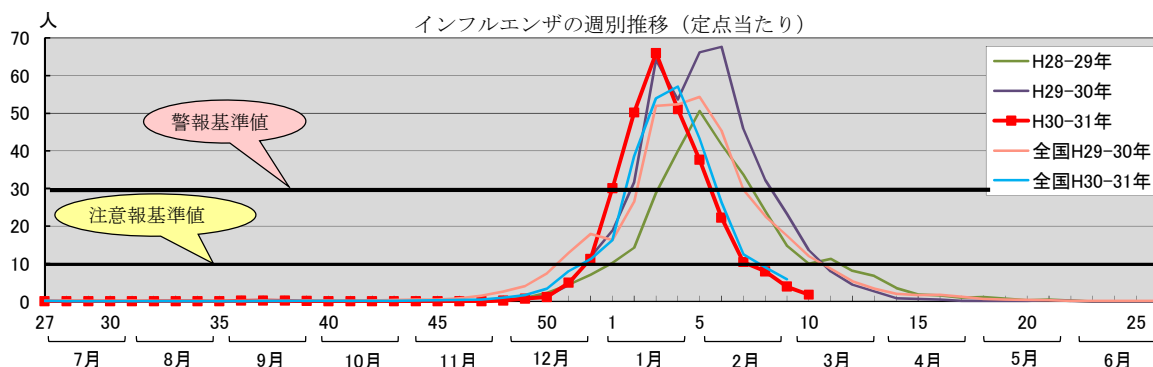
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

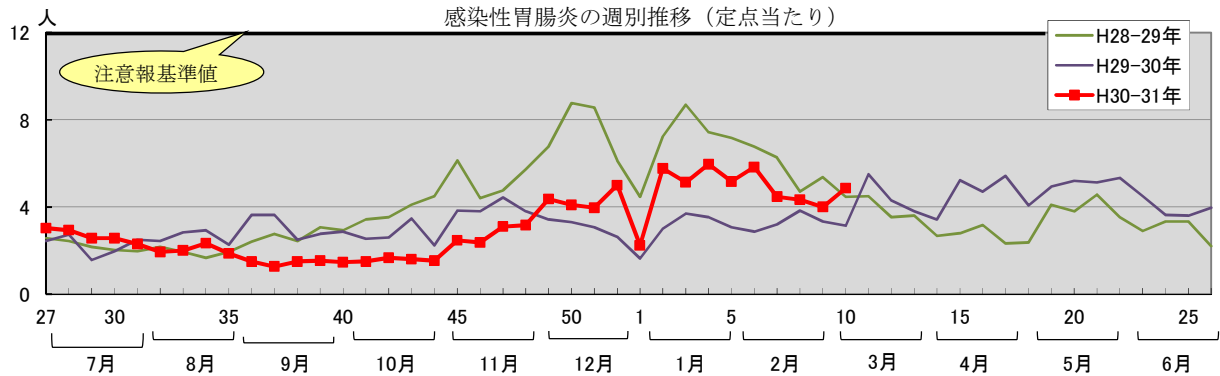
○インフルエンザ 第10週：1.79（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.79（前週：3.90）と急減しています。中央西 2.60（前週：6.40）幡多 1.38（前週：5.88）中央東 0.91（前週：2.09）で急減、高知市 2.25（前週：4.25）安芸 0.50（前週：0.75）で減少しています。



○**感染性胃腸炎 第10週：4.87（注意報値：12.00 警報値：20.00）**

定点医療機関からの報告数は定点当たり 4.87（前週：4.00）と増加しています。中央西 3.00（前週：8.67）で急減していますが、中央東 7.57（前週：2.86）で急増、幡多 3.40（前週：2.20）で増加しています。



★**病原体検出情報**

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
10	流行性耳下腺炎	39℃,	4	女	須崎	Epstein-Barr virus
10	インフルエンザ	39℃,腹痛,咳嗽,	5	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
10	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	6	男	高知市	Influenza virus B/Victoria
10	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	6	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
10	—	嘔吐,嘔気,	5	男	高知市	Norovirus GI NT
10	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	4	女	須崎	Norovirus GI NT
10	感染性胃腸炎	40℃,嘔吐,嘔気,	6ヶ月	男	高知市	Norovirus GII NT
10	—	下痢,嘔吐,嘔気,腹痛,	5	男	中央東	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
9	川崎病、尿路感染症の疑い	39℃,咳嗽,水疱,発疹,結膜炎,	1	男	中央東	Human herpes virus 6
9	上気道炎	上気道炎,	1ヶ月	男	高知市	Rhinovirus

★**全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	23	30歳代 男	高知市
		1		80歳代 女	中央西
5類	百日咳	1	37	20歳代 女	中央東
		1		15~19歳 男	高知市
		1		5~9歳 男	須崎
		1		10~14歳 女	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	おひさまこどもクリニック	感染性胃腸炎：第10週前半に急増も後半は下火に
	早明浦病院小児科	E.coliO125 とカンピロバクター同時検出1例（12歳女）
高知市	高知医療センター小児科	ノロウイルス2例（11ヶ月男、9歳男） 病原性大腸菌3例（0ヶ月男2人、1ヶ月女）
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎1例（0歳） ロタウイルス腸炎1例（3歳）
	細木病院小児科	ノロ1例（9ヶ月女） ロタ1例（1歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	RSウイルス感染症2例（1歳女、2歳女） 溶連菌感染症1例 インフルエンザA型4例（ワクチン接種済み2例）
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例（1歳男：須崎市）
須崎	もりはた小児科	RSV感染症4例（1歳） ヘルペス性歯肉口内炎1例（5歳男） 百日咳1例（7歳男） ロタウイルス胃腸炎2例（6歳、9歳） インフルエンザ6例（A型）
幡多	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎1例（4歳女）
	さたけ小児科	インフルエンザ1例

★全国情報

第8号（2月18日～2月24日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核352例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症20例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎8例、A型肝炎2例、チクングニア熱1例、つつが虫病2例、デング熱5例、  
レジオネラ症24例

5類感染症：アメーバ赤痢18例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症25例  
急性弛緩性麻痺1例、急性脳炎6例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症18例、後天性免疫不全症候群13例、ジアルジア症1例、  
侵襲性インフルエンザ菌感染症6例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症37例、  
水痘（入院例に限る）6例、梅毒94例、播種性クリプトコックス症4例、破傷風1例、  
百日咳242例、風しん108例、麻しん33例

削除予定：風しん1例

報告遅れ：腸管出血性大腸菌感染症1例、A型肝炎3例、レジオネラ症6例

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症19例、急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、  
水痘（入院例に限る）5例、梅毒54例、播種性クリプトコックス症1例、百日咳115例  
風しん16例、麻しん5例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第10週 平成31年3月4日(月)～平成31年3月10日(日)

高知県衛生研究所

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)	
											H30/12/31～H31/3/10	全国(9週末累計) H30/12/31～H31/3/3
インフルエンザ		2	10	36	13	14	11	86 ( 1.79 )	187 ( 3.90 )	29,384 ( 5.93 )	13,498 ( 281.21 )	1,303,851 ( 263.67 )
小児科	咽頭結膜熱			3		1		4 ( 0.13 )	2 ( 0.07 )	1,056 ( 0.33 )	43 ( 1.43 )	8,875 ( 2.81 )
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	15	33	6	6	11	73 ( 2.43 )	87 ( 2.90 )	8,576 ( 2.71 )	565 ( 18.83 )	63,132 ( 19.99 )
	感染性胃腸炎	10	53	54	9	3	17	146 ( 4.87 )	120 ( 4.00 )	18,843 ( 5.95 )	1,433 ( 47.77 )	169,986 ( 53.83 )
	水痘	1				1	2	4 ( 0.13 )	9 ( 0.30 )	895 ( 0.28 )	71 ( 2.37 )	9,447 ( 2.99 )
	手足口病				1			1 ( 0.03 )	( )	417 ( 0.13 )	13 ( 0.43 )	3,680 ( 1.17 )
	伝染性紅斑			5	2			7 ( 0.23 )	2 ( 0.07 )	1,801 ( 0.57 )	89 ( 2.97 )	19,325 ( 6.12 )
	突発性発疹	1	5	4		1	2	13 ( 0.43 )	7 ( 0.23 )	1,078 ( 0.34 )	73 ( 2.43 )	8,554 ( 2.71 )
	ヘルパンギーナ		1					1 ( 0.03 )	( )	83 ( 0.03 )	5 ( 0.17 )	454 ( 0.14 )
	流行性耳下腺炎							( )	( )	286 ( 0.09 )	4 ( 0.13 )	2,481 ( 0.79 )
	RSウイルス感染症		2	17	3	4	8	34 ( 1.13 )	36 ( 1.20 )	1,488 ( 0.47 )	145 ( 4.83 )	11,444 ( 3.62 )
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	4 ( 0.01 )	( )	56 ( 0.08 )
	流行性角結膜炎			4				4 ( 1.33 )	4 ( 1.33 )	342 ( 0.49 )	18 ( 6.00 )	4,011 ( 5.76 )
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	12 ( 0.03 )	( )	93 ( 0.19 )
	無菌性髄膜炎							( )	( )	13 ( 0.03 )	( )	94 ( 0.20 )
	マイコプラズマ肺炎			2				2 ( 0.25 )	2 ( 0.25 )	96 ( 0.20 )	24 ( 3.00 )	889 ( 1.85 )
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	1						1 ( 0.13 )	( )	( )	2 ( 0.25 )	15 ( 0.03 )
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			2				2 ( 0.25 )	5 ( 0.63 )	140 ( 0.29 )	15 ( 1.88 )	505 ( 1.05 )
計 (小児科定点当たり人数)	17 ( 7.50 )	86 ( 11.76 )	160 ( 12.79 )	34 ( 9.60 )	30 ( 11.50 )	51 ( 9.38 )	378 ( 11.20 )			64,514	15,998 ( 362.57 )	1,606,892
前週 (小児科定点当たり人数)	15 ( 6.75 )	62 ( 7.66 )	195 ( 14.80 )	71 ( 19.39 )	26 ( 9.50 )	92 ( 14.88 )		461 ( 12.67 )				

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

第10週

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(9週)	高知県(10週末累計)	
											H30/12/31～H31/3/10	全国(9週末累計) H30/12/31～H31/3/3
インフルエンザ		0.50	0.91	2.25	2.60	3.50	1.38	1.79	3.90	5.93	281.21	263.67
小児科	咽頭結膜熱			0.27		0.50		0.13	0.07	0.33	1.43	2.81
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	2.14	3.00	2.00	3.00	2.20	2.43	2.90	2.71	18.83	19.99
	感染性胃腸炎	5.00	7.57	4.91	3.00	1.50	3.40	4.87	4.00	5.95	47.77	53.83
	水痘	0.50				0.50	0.40	0.13	0.30	0.28	2.37	2.99
	手足口病				0.33			0.03		0.13	0.43	1.17
	伝染性紅斑			0.45	0.67			0.23	0.07	0.57	2.97	6.12
	突発性発疹	0.50	0.71	0.36		0.50	0.40	0.43	0.23	0.34	2.43	2.71
	ヘルパンギーナ		0.14					0.03		0.03	0.17	0.14
	流行性耳下腺炎									0.09	0.13	0.79
	RSウイルス感染症		0.29	1.55	1.00	2.00	1.60	1.13	1.20	0.47	4.83	3.62
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.08
	流行性角結膜炎			4.00				1.33	1.33	0.49	6.00	5.76
基幹	細菌性髄膜炎									0.03		0.19
	無菌性髄膜炎									0.03		0.20
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.25	0.25	0.20	3.00	1.85
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	1.00						0.13			0.25	0.03
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			0.40				0.25	0.63	0.29	1.88	1.05
計 (小児科定点当たり人数)	7.50	11.76	12.79	9.60	11.50	9.38	11.20			362.57		
前週 (小児科定点当たり人数)	6.75	7.66	14.80	19.39	9.50	14.88		12.67				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2019年3月11日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。





病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)：平成 31 年第 10 週  
 グラフダウンロード：[第 10 週](#)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第10週)

